

Ⅵ. 1才6ヶ月健診時における母子関係について

小林 美智子 (伊那保健所々長)
佐々木 英子 他保健婦一同

研究の動機と目的

伊那保健所管内は長野県の南部、天竜川に沿った上伊那地方(上伊那郡)の2市4町4村よりなる。昭和55年の人口は約174,800人で出生数2,335人うち男子1,191人、女子1,144人、昭和56年の人口は約176,000人、出生数は2,048人、男子1,038人、女子1,010人であった。昭和52年より各市町村で1才6ヶ月健診を行ってきたが健診時に児の運動発達を検査するために母と児を離して立たせたところ、児の反応に違いがあることから反応の違いが乳児期の栄養方法や養育方法、その他と関連があるかどうかを知るため調査を行った。

本年は昨年に加えて出生順位と人見知り、後追い、断乳時期などの関連も調べてみた。

対 象

56年 1市3町2村の1才6ヶ月児 473名
57年 1市3町1村の1才6ヶ月児 425名
1才6ヶ月健診 ①昭和56年7月～12月迄
健診回数21回
②昭和57年1月～58年1
月迄 健診回数25回

調 査 方 法

1才6ヶ月健診時に内科診察の後、母と児を離して(約2～3m)立たせる。母親には黙って立っていてもらう。その時の児の反応をみる。母と子の中間点に玩具(ラップ、人形、自動車、ボール、積木)を置く。乳児期の栄養方法、養育方法、出生順位、人見知り、あとおいについては間診時に母親から聴き取り調査を行う。

結 果

乳児期の哺乳形態(栄養方法)は昨年とほぼ同じで母乳63%、混合22%、人工15%であった。(図1.)養育法は育児専業が約半分の50.4%、次いで外勤21.2%、内職、自営の順である。

(図2.)当地方は弱電や精密工業の中小企業の下請工場が多くみられ家庭内での部品の組立てなどを内職とする母親が多い。自営業は農業も含む。昨年に比し内職がやや減ったのは不景気により下請けが少なくなったことが影響しているものと考えられる。

児 の 反 応

⑨項目に分けたが図3の通りである。⑨は健診に母以外の人が付添ってきた場合であり10人みられた。10人共祖母が付添ってきた。①の反応が最も多くみられ次いで③、⑦の反応が多くみられた。①～⑧項目を更に4つに分類した。

- I 母にのみ反応を示すもの(①と⑦)
- II 母と玩具の両方に反応を示すもの
 - a) 母に反応してから玩具に反応②
 - b) 玩具に反応してから母に反応(③④⑥)
- III 玩具にのみ反応して母に反応しないもの⑤
- IV 母にも玩具にも反応しないもの⑧

結果は図4の如くである。昨年の調査結果に比してIVがIIIより多くなっている。

児の反応と栄養法、養育法との関係は昨年調査したところによると育児専念-母乳と外勤-人工で差がみられたが他では有意差は認められなかった。また母親に反応するグループ(I+II)と母親に反応しないグループ(III+IV)でみると育児専念-母乳の方が母親に反応する児が多くみられ、外勤-人工では少い。母親に反応しないグループは外勤-人工の方が多くみられた。(有意差あり 1%危険率)

養育方法と反応をみると表1の如く育児専念ではI、IIが多くみられ、内職、外勤、自営ではIIIに多くみられる傾向がある。

出生順位と養育方法をみると、表2のとおり全体で第2子が最も多く(39.3%)、第1子(37.6%)、第3子(19.3%)の順である。第4子、第5子はわずかにみられる(3.8%)。出生順位と反応の関係は、表3にみられるように第1子はIIに第

2子はIに第1子はIVに多い傾向がみられたが有意差はなかった。

次いで人みしりと反応についてであるが表4) ㉔㉕の如く全体の約60%に人みしりのあるものに多くみられ、IVはないものに多くみられる(有意差あり、0.5%)人みしりと養育方法の関係は表5の如くである。育児専念に人みしりをするものが多く、内職では人みしりのないものが多い。(有意差あり、危険率5%)但し、育児専念と外勤とでは有意差はみられなかった。後追いと反応との関係は、表6 ㉔㉕にみられるようにあとおいのあるものはIの反応が多く、ないものにはIVの反応が多くみられる。(有意差あり、危険率0.5%)養育方法との関係は表7)のとおり、あとおいのあるものは育児専念に多くみられ、内職外勤にはあとおいのないものが多くみられる。(有意差あり)

断乳時期については、ばらつきが多く母乳哺育にのみ関してみると、断乳未完了が最も多い(56人)が次いで12ヶ月(40人)で、10ヶ月(22人)13ヶ月(20人)、14ヶ月(19人)8ヶ月(19人)にピークがみられる。

断乳時期と反応との関係ははっきりした差はみられなかったが、未断乳の場合はIの反応が多く、13~18ヶ月の断乳ではIIに多い傾向がみられた。断乳時期と養育方法では育児専念では13~18ヶ月に内職では7~12ヶ月に外勤では6ヶ月以前に自営では未断乳に各々、やや多い傾向がみられた。

尚、この調査は継続調査を予定し、3才児、6才児の時の母子関係をみていきたいと考えパンチカードを考察した。

考 察

1才6ヶ月健診時の母に対する児の反応に違い

がみられたが、それが何によるものか調査をしたのであるが乳児期の栄養法、養育方法によってはある傾向はみられたが有意差はみられなかった。但し、育児専念で母乳栄養では母親に反応を示すものが多いが、母親に反応を示さないグループには外勤で人工栄養のものが多いことがわかった。

出生順位については有意差はみられなかった。傾向としては、第3子は自営業に多く母にもおもちゃにも反応しない傾向がみられた。

「人みしり」と「あとおい」については、「ある」ものには母のみ反応するものが多く、「ない」ものには母にもおもちゃにも反応しないものが多くみられた。また、養育法と「あとおい」との関係では育児専念に「あとおい」が多くみられたが内職や外勤では「あとおい」のないものが多い。「あとおい」が母子関係の1つの指標とみるならば「あとおい」のない外勤、内職は養育方法として注意する必要があるように思われる。

断乳時期についての関係ははっきりつかめなかったが、好ましい母子関係にとって断乳時期は何か月がいいのか今後の課題と思われる。

1才6ヶ月時の母子関係はどのような型がいいのか問題となるところであるが、1才6ヶ月はまだ母親への分離不安の強い時期であることを考えると①の反応が最も多くみられるのは当然と考えられる。②も母への愛着が強い反応とみていだろう。③、④は玩具に反応してから母に反応するグループである。母親が働きかけをして反応するのが⑥と⑦である。⑤と⑧は母親が働きかけても母に対して愛着行動を示さないグループである。特に⑧は最も好ましくない反応と考えられる。

今回は、母親の児に対する意識は調査できなかったが必要と思われる。今後、3才児、6才児の母子関係をパンチカードを使用して追跡調査していく予定である。

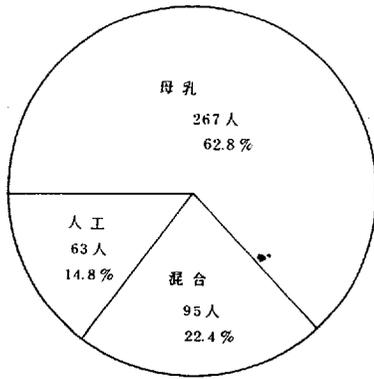


図1 乳児期の哺乳形態

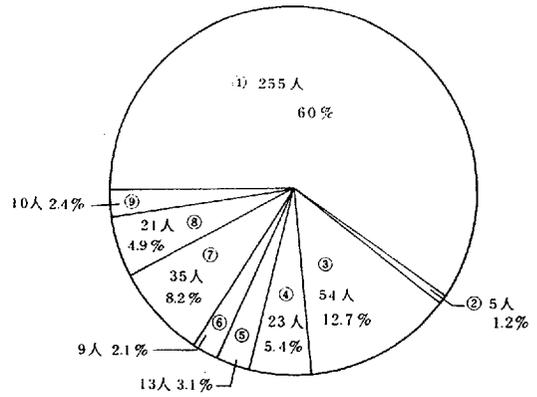


図3 児の反応結果

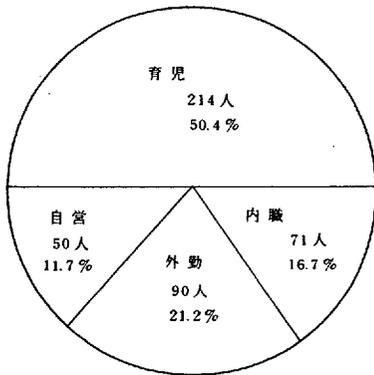


図2 養育法

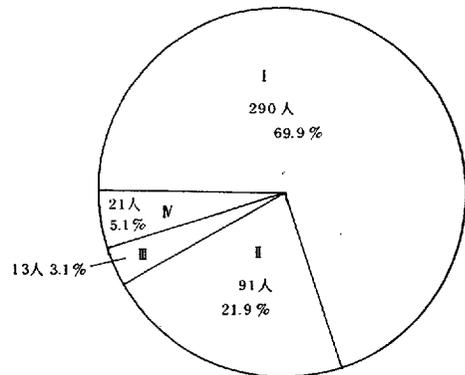


図4 ①～⑧項目を4つに分類した結果

表1. 哺乳形態と反応

反応 哺乳形態	母のみに反応	母とおもちゃ に反応	おもちゃのみ 反応	母にもおもちゃ にも反応しない	計
母乳	187 (71.4)	56 (21.4)	5 (1.9)	14 (5.3)	262 (100)
混合	38 (63.3)	12 (20.0)	6 (10.0)	4 (6.7)	60 (100)
人工	65 (69.9)	23 (24.7)	2 (2.2)	3 (3.2)	93 (100)
計	290 (69.9)	91 (21.9)	13 (3.1)	21 (5.1)	415 (100)

表2. 養育方法と反応

(A)

反応 養育方法	母のみに反応	母とおもちゃ に反応	おもちゃのみ に反応	母にもおもちゃ にも反応しない	計
育児専業	146 (68.9)	53 (25.0)	3 (1.4)	10 (4.7)	212 (100)
内職	48 (67.6)	17 (24.0)	3 (4.2)	3 (4.2)	71 (100)
外勤	64 (77.1)	11 (13.3)	4 (4.8)	4 (4.8)	83 (100)
自営	32 (65.3)	10 (20.4)	3 (6.1)	4 (8.2)	49 (100)
計	290 (69.9)	91 (21.9)	13 (3.1)	21 (5.1)	415 (100)

(B)

	育専	内	外	自	計
母のみに反応	146 (50.3)	48 (16.6)	64 (22.1)	32 (11.0)	290 (100)
母とおもちゃに反応	53 (58.2)	17 (18.7)	11 (12.1)	10 (11.0)	91 (100)
おもちゃのみに反応	3 (23.1)	3 (23.1)	4 (30.7)	3 (23.1)	13 (100)
母にもおもちゃにも反応しない	10 (47.6)	3 (14.3)	4 (19.5)	4 (19.05)	21 (100)
計	212 (51.1)	71 (17.1)	83 (20.0)	49 (11.8)	415 (100)

表3. 出生順位と養育方法

第何子	総数	1	2	3	4	5
育児専業	214 (50.4)	98 (61.3)	79 (47.3)	30 (36.6)	5 (35.7)	2 (100)
内職	71 (16.7)	21 (13.1)	31 (18.6)	13 (15.9)	6 (42.9)	0
外勤	90 (21.2)	32 (20.0)	41 (24.6)	16 (19.5)	1 (7.1)	0
自営	50 (11.8)	9 (5.6)	16 (9.6)	23 (28.0)	2 (14.3)	0
計	425	160 (100)	167 (100)	82 (100)	14 (100)	2

表3. 出生順位と反応

①

反応	母のみに	母とおもちゃに	おもちゃのみに	反応なし	計
第1子	100 (64.5)	42 (27.1)	6 (3.8)	7 (4.5)	155(100)
2	125 (75.8)	29 (17.6)	4 (2.4)	7 (4.2)	165(100)
3	55 (69.6)	15 (19.0)	3 (3.8)	6 (7.6)	79(100)
4	9 (64.3)	5 (35.7)	0 (—)	0 (—)	14(100)
5	1 (50.0)	0 (—)	0 (—)	1 (50.0)	2(100)
計	290 (70.0)	91 (22.0)	13 (3.1)	21 (5.1)	415(100)

②

	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子	計
母のみに反応	100 (34.5)	125 (43.1)	55 (18.9)	9 (3.1)	1 (3.4)	290
母とおもちゃに反応	42 (46.1)	29 (31.9)	15 (16.5)	5 (5.5)	0	91
おもちゃのみに反応	6 (46.1)	4 (30.8)	3 (23.1)	0	0	13
母にもおもちゃにも反応せず	7 (33.3)	7 (33.3)	6 (28.6)	0	1 (4.8)	21
計	155 (37.3)	165 (39.8)	79 (19.0)	14 (3.4)	2 (0.5)	415

	母のみに	母とおもちゃに	おもちゃのみに	反応なし	計
1	100 (64.5)	42 (27.1)	6 (3.9)	7 (4.5)	155
2	125 (75.2)	29 (17.6)	4 (2.4)	7 (4.2)	165
3 4 5	65 (68.4)	20 (21.1)	3 (3.2)	7 (7.4)	95
計	290 (4)	91	13	21	415

表4. ①

反応	人見知り あり	あつが少ない	ない	計
母のみに反応	192 (66.2)	50 (17.2)	48 (16.6)	290 (100)
母とおもちゃに反応	46 (50.5)	19 (20.9)	26 (28.6)	91 (100)
おもちゃのみに反応	5 (38.5)	2 (15.4)	6 (46.1)	13 (100)
母にもおもちゃにも反応しない	12 (57.1)	1 (4.8)	8 (38.1)	21 (100)
計	255 (61.5)	72 (17.3)	88 (21.2)	415 (100)

	母のみに	母とおもちゃに	おもちゃのみに	母にもおもちゃにも反応しない	計
あり	192 (75.3)	46 (18.0)	5 (2.0)	12 (4.7)	255 (100)
あつが少ない	50 (69.4)	19 (26.4)	2 (2.8)	1 (1.4)	72 (100)
ない	48 (54.5)	26 (29.5)	6 (6.8)	8 (9.1)	88 (100)
計	290 (69.9)	91 (21.9)	13 (3.1)	21 (5.1)	415 (100)

③

	母のみに反応	母にもおもちゃにも反応しない	計
あり	192 188.308	12 15.692	204
ない	48 51.692	8 4.308	56
計	240	20	260

$$X^2 = 4.36974$$

危険率 0.5% で有意差あり

表 6. ④

反応 \ 後追い	あり	あまりない	ない	計
母のみに反応	239 (82.4)	31 (10.7)	20 (6.9)	290
母とおもちゃに反応	62 (68.1)	13 (14.3)	16 (17.6)	91
おもちゃのみに反応	11 (84.6)	0	2 (15.4)	13
母にもおもちゃにも反応しない	13 (61.9)	2 (9.5)	6 (28.6)	21
計	325 (78.3)	46 (11.1)	44 (10.6)	415

表 6. ⑤

後追い \ 反応	母のみに	母とおもちゃに	おもちゃのみに	母にもおもちゃにも反応しない	計
あり	239 (73.5)	62 (19.1)	11 (3.4)	13 (4.0)	325 (100)
あったが少ない	31 (67.4)	13 (28.3)	0 (-)	2 (4.3)	46 (100)
ない	20 (45.5)	16 (36.4)	2 (4.5)	6 (13.6)	44 (100)
計	290 (69.9)	91 (21.9)	13 (3.1)	21 (5.1)	415 (100)

表 6. ⑥

後おい	母のみ	反応なし	
あり	239	13	252
なし	20	6	26
	259	19	278

表5. 養育方法と人見知り

人見知り	あ り	あるが少ない	な い	計
育 専	139 (65.0)	36 (16.8)	39 (4.7)	214 (100)
内 職	39 (54.9)	11 (15.5)	21 (29.6)	71 (100)
外 勤	50 (56.8)	14 (15.9)	24 (27.3)	88 (100)
自 営	32 (64.0)	12 (24.0)	6 (12.0)	50 (100)
計	260 (61.2)	73 (17.3)	90 (21.3)	423 (100)

人見知り	あ り(%)	な い	計
育 専	139 (78.1)	39 (78.9)	178
内 職	39 (65.0)	21 (65.0)	60
計	178 (74.9)	60 (25.2)	238

$X^2 = 4.078014771$
危険率 5% で有意差あり

人見知り	あ り(%)	な い	計
育 専	139 (78.1)	39 (21.9)	178
内 職	50 (67.6)	24 (32.4)	74
計	189 (75.0)	63 (25.0)	252

$X^2 = 3.086547221$
有意差なし

表7. 養育方法と後追い

	あ り	あまりない	な い	合 計
育 専	175 (82.2)	22 (10.3)	16 (7.5)	213 (100)
内 職	48 (67.6)	8 (11.3)	15 (21.1)	71 (100)
外 勤	65 (72.8)	10 (11.4)	13 (14.8)	88 (100)
自 営	40 (80.0)	7 (14.0)	3 (6.0)	50 (100)
合計	328 (77.7)	47 (11.1)	47 (11.1)	422 (100)

(育児専業で1名、外勤で2名記入なし)

	あ り(%)	な し	計
育 専	175 (91.6)	16 (8.4)	191
内 職	48 (76.2)	15 (23.8)	63
計	223 (87.8)	31 (12.2)	254

$X^2 = 10.52972552$
危険率 0.5% で有意差あり

	あ り(%)	な い	計
育 専	175 (91.6)	16 (8.4)	191
外 勤	65 (83.3)	13 (16.7)	78
計	240 (89.2)	29 (10.8)	269

$X^2 = 3.956844522$
危険率 5% で有意差あり

表 8. ㉠ 断乳の時期と反応

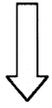
断乳の時期 \ 反応	母のみに反応	母とおもちゃに反応	おもちゃのみに反応	母にもおもちゃにも反応しない	計
6ヶ月以前	7 (70.0)	2 (20.0)	0	1 (10.0)	10 (100)
7ヶ月~12ヶ月迄	74 (69.8)	24 (22.7)	3 (2.8)	5 (4.7)	106 (100)
13ヶ月~18ヶ月迄	60 (70.6)	20 (23.5)	2 (2.4)	3 (3.5)	85 (100)
未断乳	43 (76.8)	8 (14.3)	0	5 (8.9)	56 (100)
不明・その他	3 (60.0)	2 (40.0)	0	0	5 (100)
計	187 (71.4)	56 (21.4)	5 (1.9)	14 (5.3)	262 (100)

反応No.9の5名をのぞく

㉡ 断乳の時期と養育方法

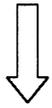
断乳の時期 \ 養育方法	育児専業	内職	外勤	自営	計
6ヶ月以前	5 (45.4)	2 (18.2)	3 (27.3)	1 (9.1)	11 (100)
7ヶ月~12ヶ月迄	50 (45.9)	26 (23.9)	25 (22.9)	8 (7.3)	109 (100)
13ヶ月~18ヶ月迄	51 (59.3)	10 (11.6)	13 (15.1)	12 (14.0)	86 (100)
未断乳	24 (42.9)	12 (21.4)	10 (17.8)	10 (17.9)	56 (100)
不明・その他	3 (60.0)	0 (0)	2 (40.0)	0	5 (100)
	133 (49.8)	50 (18.7)	53 (19.9)	31 (11.6)	267 (100)

		6ヶ月以前	7ヶ月 ～12ヶ月迄	13ヶ月 ～18ヶ月迄	未 断 乳	不明・その他	計
①と⑦	育児専業	4	31	35	19	2	91
	内 職	1	19	7	8	0	25
	外 勤	2	18	8	10	1	39
	自 営	0	6	10	6	0	22
	計	7	74	60	43	3	187
②と③④と⑥	育児専業	0	15	13	4	1	33
	内 職	1	6	3	3	0	13
	外 勤	0	2	2	0	1	5
	自 営	1	1	2	1	0	5
	計	0	24	20	8	2	56
⑤	育児専業	0	0	1	0	0	1
	内 職	0	0	0	0	0	0
	外 勤	0	2	1	0	0	3
	自 営	0	1	0	0	0	1
	計	0	3	2	0	0	5
⑧と⑩	育児専業	1	2	2	1	0	6
	内 職	0	1	0	1	0	2
	外 勤	0	2	1	0	0	3
	自 営	0	0	0	3	0	3
	計	1	5	3	5	0	14
⑨	育児専業	0	2	0	0	0	2
	内 職	0	0	0	0	0	0
	外 勤	1	1	1	0	0	3
	自 営	0	0	0	0	0	0
	計	1	3	1	0	0	5
合計		11	109	86	56	5	267



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



研究の動機と目的

伊那保健所管内は長野県の南部,天竜川に沿った上伊那地方(上伊那郡)の2市4町4村よりなる。昭和55年の人口は約174,800人で出生数2,335人うち男子1,191人,女子1,144人,昭和56年の人口は約176,000人,出生数は2,048人,男子1,038人,女子1,010人であった。昭和52年より各市町村で1才6ヶ月健診を行ってきたが健診時に児の運動発達を检查するために母と児を離して立たせたところ,児の反応に違いがあることから反応の違いが乳児期の栄養方法や養育方法,その他と関連があるかどうかを知るため調査を行った。

本年は昨年に加えて出生順位と人見知り,後追い,断乳時期などの関連も調べてみた。